国土調査

今年は大字和納地区を実施

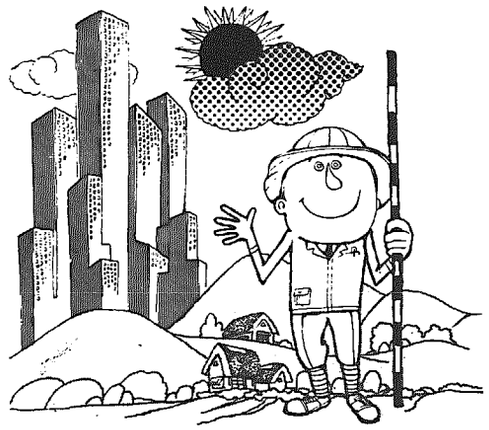
― 集落内とその西側耕地 ―

国土調査は、国土調査法にもとづいて行なわれる大切な調査です。

今まで私達の土地のもとになっていた「土地台帳」や「字限図」は明治の初めに地租をとるための目的でできたもので、当時の測量技術の幼稚さと長い年月を経たため、現況とかわってきています。

国土調査は、全地域に亘る一筆調査と、三角点から始まる極めて精度の高い全筆測量によって、地籍簿を作り、土地の正しい位置、形、地番、地目、面積を明らかにして、現在役場、登記所に有る土地台帳と公図を新しく作りかえる仕事です。

昭和五十五年度は大字和納（稲場、金丸、五百野、谷内、川原、囲ノ内）地区が調査の区域です。



土地所有者に協力していただくこと

一、自分の土地の境界の主な曲り角に杭を打っていただきます。

二、杭を打つ時は必ず隣の地主の方とよく相談して間違いのないように杭を打ってください。

三、売買や譲渡などで登記の済んでいないものは直ちに手続をしてください。

四、一度打たれた境界杭は絶対に抜いたり動かしたりしないでください。

五、杭は将来のために、コンクリート又はプラスチック等の永久的なものを設置してください。

調査費はどうなるか

地籍調査の成果は、皆さんの財産を確実に保護すると共に、色々な面で利用できますが、また、社会経済情勢の変化による長期的な種々の開発計画や発展計画を策定する資料として、国や県、村でも使うことができる重要な調査です。

そこで国は、特別に法律をつくって、調査の精度を保持するよう努めると共に費用については三分の二を負担し、残りの三分の一は県と村で負担することとしたのです。

従って皆さんには一筆調査の際、境界杭を打っていただくほか特別の費用はかかりません。

詳しいことは、部落説明会を開きますので、ご協力ください。

母と子の会話

学校生活や友だちとの間では、人のめんどうみもよく、自分のことは自分でやるが、いったん家に帰れば、何をするにも親の手をわずらわし、とかく自分勝手なことばかりする――これが、俗に〝内弁慶〟といわれる子どものタイプです。

〝内弁慶〟は、いわゆる泣き虫とか弱虫といわれる子どもに多くみられます。

内弁慶

自主的な気持ちを持たせよう

集団生活や友だちとのつきあいには、それなりのルールがあります。自分の主張もするが、相手の言い分もきき、ときにはがまんもする――といった一定のルールの中で、自分の欲求実現や不満の解消などをうまくコントロールできない子どもが、内弁慶になりがちだといわれます。

つまり、外での不平不満を家庭に持ち帰って、親や兄弟など身近な人のそばで、自分の主張をガンコなまでに押し通そうとするのです。

内弁慶になる原因はいろいろあるようですが、甘やかされて育った子どもに多いといわれます。

また、年ごろの子どもと遊ぶ機会が少なく、そのために遊び方や集団生活のルールが十分身についていない子どもも、内弁慶になりやすいといわれています。

周囲が子どものいいなりになっていると、いつまでたっても自主的な行動がとれず、ますます外と内のギャップが大きくならないともかぎりません。

家庭では、自分のことは自分でする自主的な気持ちを持たせるようにしましょう。

広報いわむろの録音奉仕をして下さる方いませんか――。

村では、広報いわむろを毎月、弥彦村の荒川　清さんにお願いし、目の不自由な方々のために点訳していただいております。

この点字広報とあわせて、耳から聞いて、もっと詳しく内容を知りたいという障害者のみなさんからの要望と議会からの示唆もあって、録音広報を作成しようと、そのための方法について検討しています。

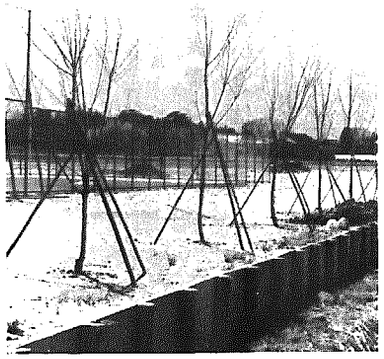
小中学校の放送部におねがいしょうか、など、いろいろ考えていますが、村民のボランテアでおねがいし、できれば、これを契機に広報モニター的なサークルとして発展すればというよくばった考えから、広くみなさんに呼びかけて、協力をお願いすることになりました。

やってみようか――と思われる方、次に連絡ください。

役場総務課　広報係
TEL　二―四一一一

巻ライオンズクラブが

交通安全標識塔とサクラの苗木を寄贈



この程、巻ライオンズクラブ（会長渡辺　修さん）より、交通事故防止のために交通安全標識塔（三十万円相当）を国道添いに、また、公民館周辺の環境美化のためにとサクラの苗木三十五本の寄贈がありました。

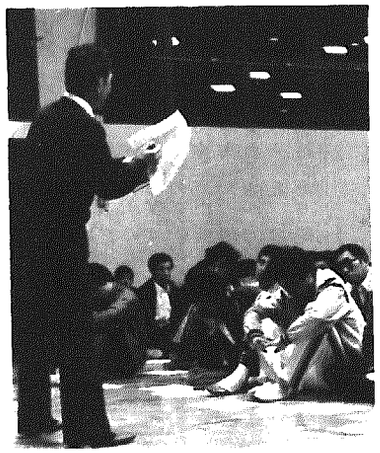
村では、さっそくこの苗木を野球場北側のサイドフェンス脇に植え、手入れをしていくことにしました。

たび重なる善意に――この二つとも村として何とかしなければと考えていた矢先でした。大切に管理しなければ――と村長も感激しています。

▲寄贈されたサクラの苗木

プレーするより気をつかうぞ

真剣に野球審判講習会



いよいよ今月から、野球のナイターリーグ戦が始まります。

試合を盛りあげるのは選手のハッスルプレーとともに、審判技術が重要になってきます。そこで開幕を前に、審判員の特訓を行いました。ルールブック片手に斎川講師の講義を受け、――ウーンむづかしいもんだね、でもしっかりやらなくては――とある参加者は顔をこわばらせていました。

▲真剣に聞き入る受講者のみなさん

村の話題

初期消火に威力

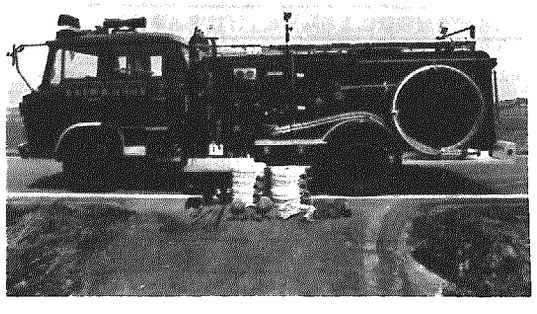
分署に水そう付消防ポンプ車を配備

このタンク車は普通消防ポンプ自動車と同性能のポンプを備えているほかに、二、〇〇〇リットルの水そうを装備した消防車です。

火災の時は水利がなくても火点附近に接近して放水できるため、初期消火に威力を発揮します。

水そうをかかえているため大変大型になっています。万一の場合を考えて、狭い道路での駐車はしないでほしいと岩室分署では呼びかけています。

ご協力をお願いします。



配備されたタンク車▼

岩室エネルギー

村民懇談会が発足

節約は、いまや〝美徳〟として私たちの暮らしのなかに定着しつつあります。省資源、省エネルギーという言葉もすっかりおなじみになってきました。

そこで、村でもこれらエネルギー問題について考えようと、このたびエネルギー村民懇談会（会長草野万一氏）が設立されました。

この会は年会費一、〇〇〇円でどなたでも会員になれます。中央講師による講演とか他町村との交歓会とかいろんな事業が計画されています。ともに勉強したいと思う方、どうぞ参加ください。

▲総会のあと岸本康先生の講演を聞く会員の方々